



2020年8月7日

各 位

会 社 名：株式会社ダイナックホールディングス  
代表者名：代表取締役社長 伊藤 恭裕  
(コード番号：2675 東証第二部)  
問合せ先：取締役常務執行役員 及川 直昭  
(電話：03-3341-4216)

### 特別利益・特別損失および持分法による投資損失の計上 並びに繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

当社は、2020年12月期第2四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年6月30日）において、下記のとおり特別利益・特別損失および持分法による投資損失の計上、並びに繰延税金資産を取り崩しましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 特別利益の発生およびその内容

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等の支給申請の実施により、575百万円を特別利益に計上しました。

##### 2. 特別損失の発生およびその内容

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組みとして、政府・自治体等による緊急事態宣言・各種要請に伴う店舗の臨時休業期間中に発生した人件費や地代家賃等の固定費1,492百万円を、臨時休業等による損失として特別損失に計上しました。また、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大による今後の経営環境等を踏まえ、将来の回収可能性を保守的に検討した結果、店舗に係る減損損失166百万円および閉店の意思決定を行った一部店舗に係る撤退損失を124百万円計上しました。

##### 3. 持分法による投資損失の発生およびその内容

新型コロナウイルス感染症が拡大している影響を受け、当社の持分法適用関連会社である株式会社カームデザインの経営成績が計画値を下回り、財務状況の回復に一定の期間を要することから、将来の回収可能性を保守的に検討した結果、持分法による投資損失155百万円を営業外費用に計上しました。

##### 4. 繰延税金資産の取り崩しの発生およびその内容

新型コロナウイルス感染症の拡大による今後の経営環境等を踏まえ、当社グループの業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額344百万円を計上しました。

##### 5. 業績に与える影響

上記の特別利益・特別損失および持分法による投資損失の計上並びに繰延税金資産の取り崩しにつきましては、本日公表しました「2020年12月期第2四半期決算短信」に反映しております。

以 上